

**【プロフィール】**

東京新聞政治部記者 川田篤志（39）

2008年入社。15年に結婚。18年に男性不妊症を引き起こす「精索静脈瘤」と診断され、同年に手術。翌年に長女を出産。

19年11月から治療体験をつづった連載「男性不妊 僕がパパになるまで」を東京新聞で掲載。いまも東京新聞WEB「東京すくすく」に掲載中。

**【提言】**

- ・ 不妊症の48%は男性に原因（WHO）。夫婦で不妊を疑ったら男性もまずは検査を
- ・ 加齢により精子の質は低下。一度の検査結果を過信しないで
- ・ 不妊治療の情報は乱立。病院選びや治療の選択について患者は何を信じていいのかわからず・・・ →厚労省には、患者に安心を提供するための情報のセーフティネットを確立してほしい
- ・ ・ ・最後に